

キルギス共和国における 学校インフラの安全性向上

子供たちのために安全な学習環境を確保

概要

対象国 キルギス共和国

災害リスク 地震、土砂崩れ、土石流、氷河湖決壊洪水、雪崩

取組分野 強靱なインフラの促進

政府が学校に投資して安全性と機能を強化し、
自然災害への強靱性を向上させる
キルギス共和国の取り組み

リスクにさらされるキルギスの子供たち

キルギス共和国では推計250万人の子どもたちが3,000校を超える公立学校に通っています。中央アジア地域では広く知られているとおり、ソ連時代に建設された住居や学校の建物の耐震性に問題があることが分かっています。

こうした中、キルギス共和国では、全土で行われた確率論に基づくリスク評価によって、首都ビシュケクを含めて、国内で地震のリスクが高い地域を数値化して特定することができました。

この評価により、既存の学校インフラの安全性には大きな課題があることが明らかになりました。また、全国の学校の建造物の金銭的価値は、推計で合計15億ドルになることも分かりました。

さらに、教育現場で死亡災害事故が発生する可能性が極めて高いことも示されました。学校の建物内での死亡災害事故は7,500件を越え、住居の事故を上回ると見込まれています。

キルギス共和国の学校の80%が、
耐震性に問題を抱えています。



学校を安全にするための新たな 取り組み

キルギス政府は2015年、「キルギス共和国の学校と幼稚園の安全性を向上させるための全国プログラム（2015年～2024年）」を立ち上げ、2,222の学校と806の幼稚園のすべてにおいて、安全性を向上させるための取り組みを開始しました。

この全国プログラムは、国全体で学校インフラの脆弱な箇所を減らすための最初のフレームワークを提供するもので、政府が計画を実現するためには技術面と財政面での支援が必要となります。

このプロジェクトは安全性と強靱性の課題に加えて、より質の高い学習環境を目指すべく、既存設備の中でエネルギー効率を高め、水と衛生（WASH）に関わる設備を改善し、包摂的な教育を実施するといった措置を講じて、学校の予算不足により生じている課題にも対処しています。

「キルギスタンの強靱化」プロジェクトは、日本―世界銀行防災共同プログラムを通じ、政府のこのような先見性のある戦略の実施に対し支援を提供してきました。

プログラムから得られた教訓

現地で適用可能な方法をとることで
運営を持続

このプログラムは同国における典型的な学校建築方式の3タイプを対象に、耐震性を国際水準まで引き上げるべく、安価で効果的な技術対応策が適用されています。

また同国の建築業界での幅広い活用を目指し、現地の構造状況だけでなく技術者の能力強化も視野に入れています。

最も効率的な投資計画を見出すことが
効果を高めるカギ

このプログラムでは、限られた予算内で安全性を最も効率よく高めるための介入戦略と投資計画が提案されています。最適な対応策を知ることで、学校の耐震性のより効率的な改善に向けた決定に舵を切ることが可能になり、多くの生徒に恩恵をもたらします。

幅広いステークホルダーの関与で
戦略の適応性を向上

このプログラムは国内の制度、法律、規制上の枠組みの下で実施され、学校インフラに関わる主要なステークホルダーも参加しています。幅広いステークホルダーが関与することで、枠組みをより円滑かつ広範に実施できるよう地域の能力構築を促し、さらに向上させる機会となる可能性もあります。



2,222の学校 と 806の幼稚園 の安全性を向上

写真：ニック・ヴァン・ブラーグ (Nick van Praag)
(世界銀行)

新たな
改修

キルギス共和国の学校で主に用いられている3タイプの建造物に対しては、安価で現地に適合した改修の方法が考案されました。これらの方法では、

多様な状況下で十分な耐震性を効率的に確保できるように、漸進的なアプローチでの計画が採用されています。

分析の
強化

このプロジェクトでは、学校設備に関する耐震性リスク評価、最適な介入戦略の策定、そして投資の優先順位付けを行うための新たなツールを導入しました。投資計画の決定に必要な情報を提供するため、対象となる300の学校にこのツールを導入しました。分析の結果、必要投資額全体の約30%で、80%近くの学校の耐震性を強化できる方法が見つかりました。

未来ある
命を
守るために

分析結果とそれに基づく最適な方法から、最も地震リスクが高い4つの州にある10校（生徒数は計約8,500人）が、このプロジェクトにより短期的に1,200万ドルの投資を受ける見込みです。そこでは耐震性、エネルギー効率、WASHの改善等の効果が見込まれています。

「こうした問題についてこれまでほとんど知らず、最近になってこのプロジェクトが容易ではないことに気がきました。私たちは全力で取り組む必要があります。そうすればこのプロジェクトによって、この国の生徒や国民の安全を確保できます。」

― カリシュ・アシュマトフ (Kalys Ahmatov) (キルギス共和国教育・科学省副大臣)